



春里中学校

学校だより 令和7年度 12月号

TEL: 048-683-3458

学校教育目標
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

FAX: 048-683-8979

「きれいな学校」

校長 上田泰正

校庭の落葉樹も冬に備え葉を散らし、寒さがいっそう身にしみる季節となりました。早いもので、暦の上では「師走」。今年も残り一ヶ月余りとなりましたが、保護者・地域の皆様方には、今年一年間、学校の様々な教育活動に御支援と御協力をいただき誠にありがとうございました。

2学期を振り返ってみると、生徒たちもそれぞれの行事を通して、仲間の大切さや協力して一つのことを成し遂げることのすばらしさ、一生懸命に物事に取り組むことの達成感など多くのことを学んでくれたと思います。

さて、話は変わりますが、本校は木々も多く、この時期はたくさんの落ち葉が舞います。用務員さんが校地内外の落ち葉を掃除してくれています。おかげで学校がきれいになっていきます。

「時を守り 場を清め 礼を正す」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、教育学者の森信三先生が提唱した人間の生活にとって大切な三原則として有名な言葉です。どれも人間の生活にとって大切なことです、この中で、「場を清める」ということについて森先生は、「場を清める」とは、掃除することと述べています。掃除することの意味は五つあります。変化に気付ける、心を磨く、謙虚になれる、感動の心を育む、感謝の心が芽生えるとのことです。これは、目の前にごみが落ちていても知らない振りをするのではなく、それをきっと拾える感性を養うことで、自分を磨くことにつながる。一つ足元のごみを拾うと一つだけきれいになる。清掃をして、人のために尽くすという心構えがその人の人生を豊かにしてくれるとのことです。

最後に、12月から昇降口に「希望の登校 満足の下校」と書いた言葉を掲示しました。その言葉には、朝登校する時、生徒一人ひとりが、「今日は勉強や部活動ではあんなことができるようになりたい」など、楽しく元気に希望をもって登校し、下校の時には、「今日は授業ではこんなことが分かった、今日は部活動でこんなことができるようになった、友人との会話の中では、この人のもっているこんな素晴らしいに触れることができた」など、その日の学校生活の中で成就感や充実感をもって、満足して下校してほしいとの願いが込められております。今後もさらに教職員一同、生徒が希望をもって登校し、満足して下校できる学校づくりを目指して行きますので、保護者・地域の皆様方には引き続き御理解と御支援の程よろしくお願ひ申し上げます。